

表 6

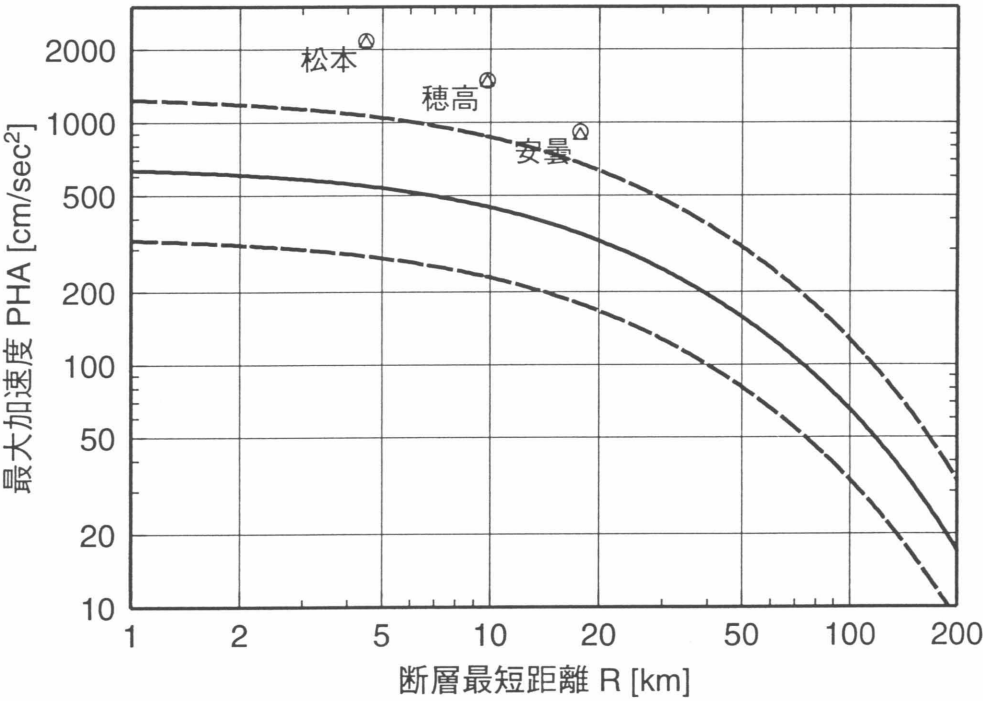
試算（工学基盤上）結果一覧表

評価地点	項目	ケース 1	ケース 2	ケース 3	ケース 4
安曇	加速度 EW	357gal	501gal	169gal	216gal
	加速度 N S	364gal	485gal	156gal	192gal
	速度 EW	21kine	27kine	17kine	27kine
	速度 NS	17kine	23kine	11kine	16kine
	計測震度	5.2	5.4	4.8	5.0
松本	加速度 EW	1511gal	2041gal	766gal	953gal
	加速度 N S	1490gal	2000gal	744gal	921gal
	速度 EW	127kine	146kine	107kine	209kine
	速度 NS	70kine	91kine	35kine	64kine
	計測震度	6.6	6.7	6.1	6.6
穂高	加速度 EW	1110gal	1404gal	436gal	556gal
	加速度 N S	1098gal	1377gal	392gal	480gal
	速度 EW	50kine	61kine	43kine	76kine
	速度 NS	41kine	48kine	31kine	60kine
	計測震度	6.1	6.3	5.5	5.8
A	加速度 EW	-	-	-	421gal
	加速度 N S	-	-	-	442gal
	速度 EW	-	-	-	74kine
	速度 NS	-	-	-	65kine
	計測震度	-	-	-	5.5
B	加速度 EW	-	-	-	634gal
	加速度 N S	-	-	-	640gal
	速度 EW	-	-	-	42kine
	速度 NS	-	-	-	38kine
	計測震度	-	-	-	5.8
C	加速度 EW	-	-	-	379gal
	加速度 N S	-	-	-	392gal
	速度 EW	-	-	-	41kine
	速度 NS	-	-	-	30kine
	計測震度	-	-	-	5.5

（注：工学基盤上での試算値であり、地表についての計算値でないことに注意が必要）

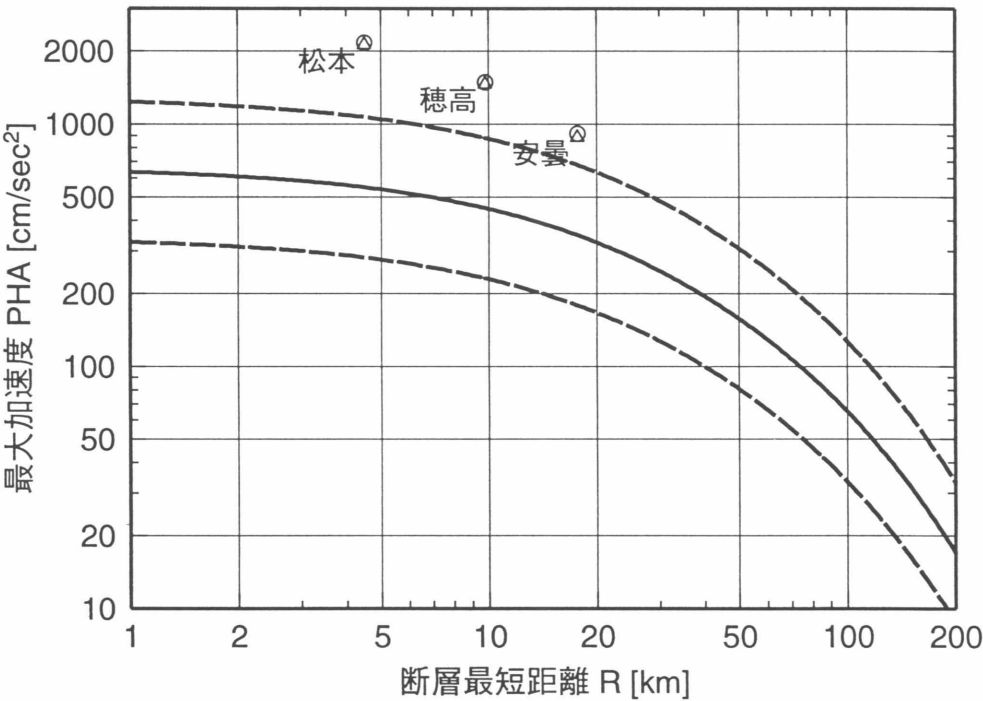
ケース 1

- △ ハイブリッド合成法 NS成分 (補正值)
- ハイブリッド合成法 EW成分 (補正值)
- 平均±標準偏差
- 福島・田中 (1992)  $M_W = 7.2$



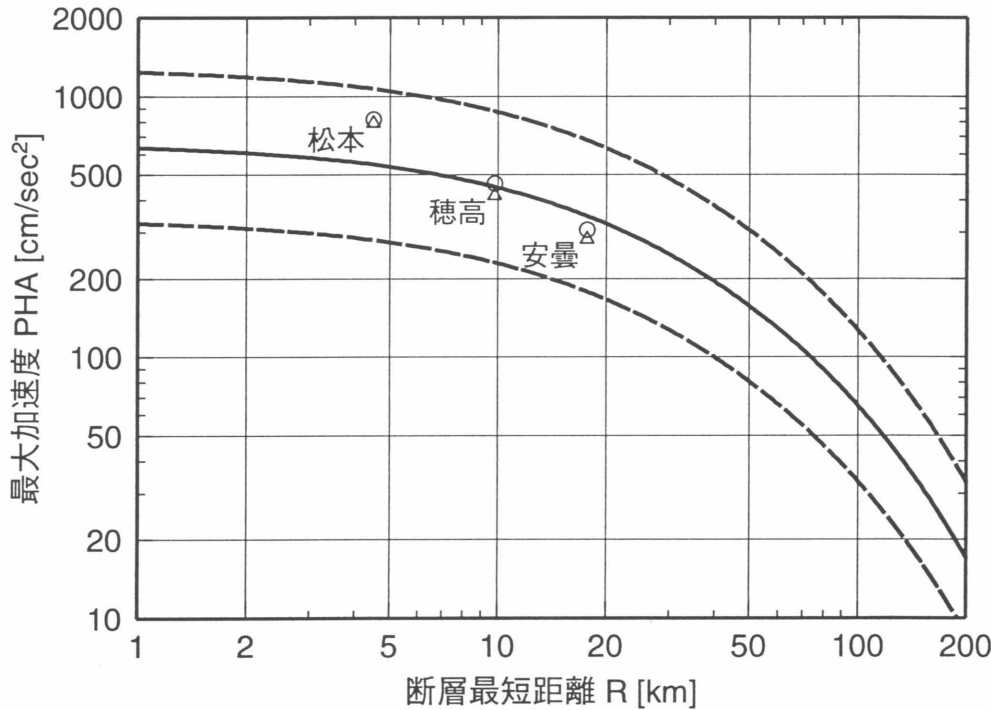
ケース 2

- △ ハイブリッド合成法 NS成分 (補正值)
- ハイブリッド合成法 EW成分 (補正值)
- 平均±標準偏差
- 福島・田中 (1992)  $M_W = 7.2$



ケース 3

- △ ハイブリッド合成法 NS成分 (補正值)
- ハイブリッド合成法 EW成分 (補正值)
- 平均±標準偏差
- 福島・田中 (1992)  $M_W = 7.2$



ケース 4

- △ ハイブリッド合成法 NS成分 (補正值)
- ハイブリッド合成法 EW成分 (補正值)
- 平均±標準偏差
- 福島・田中 (1992)  $M_W = 7.38$

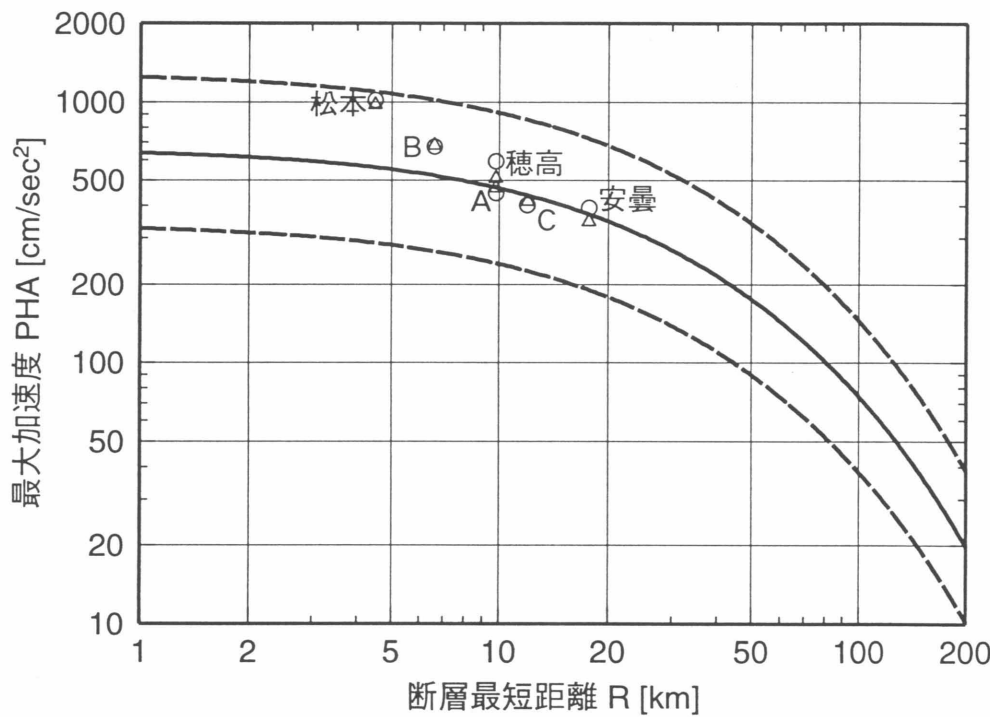
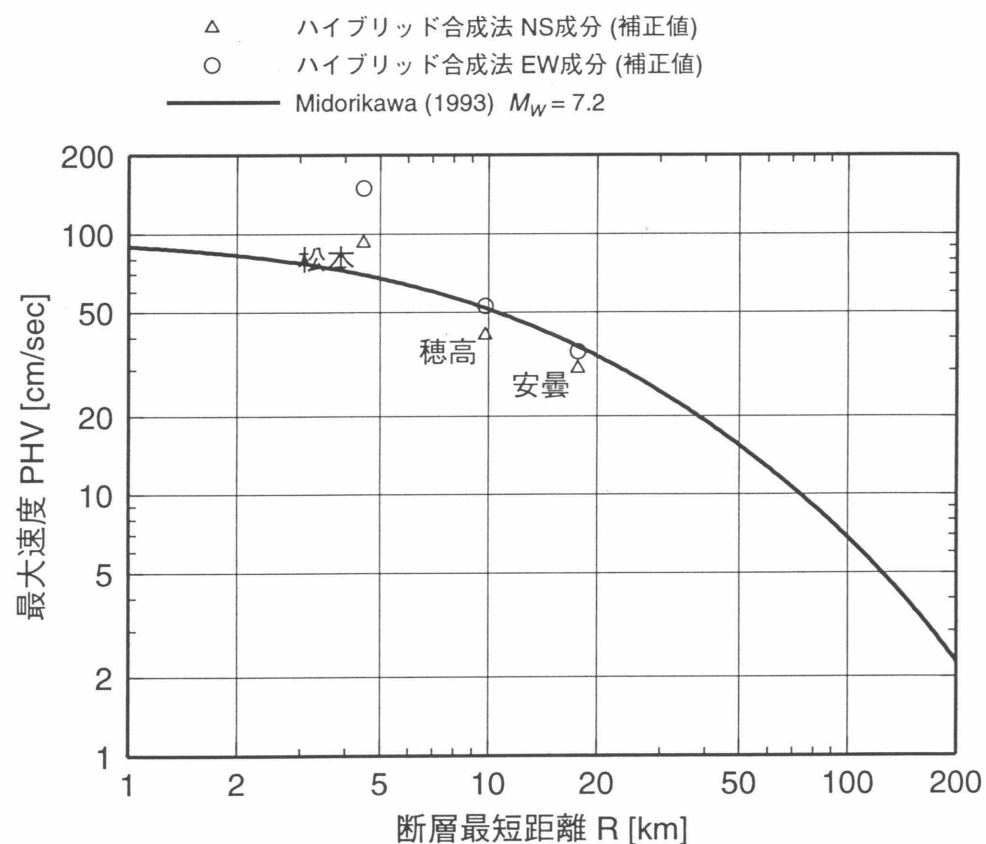
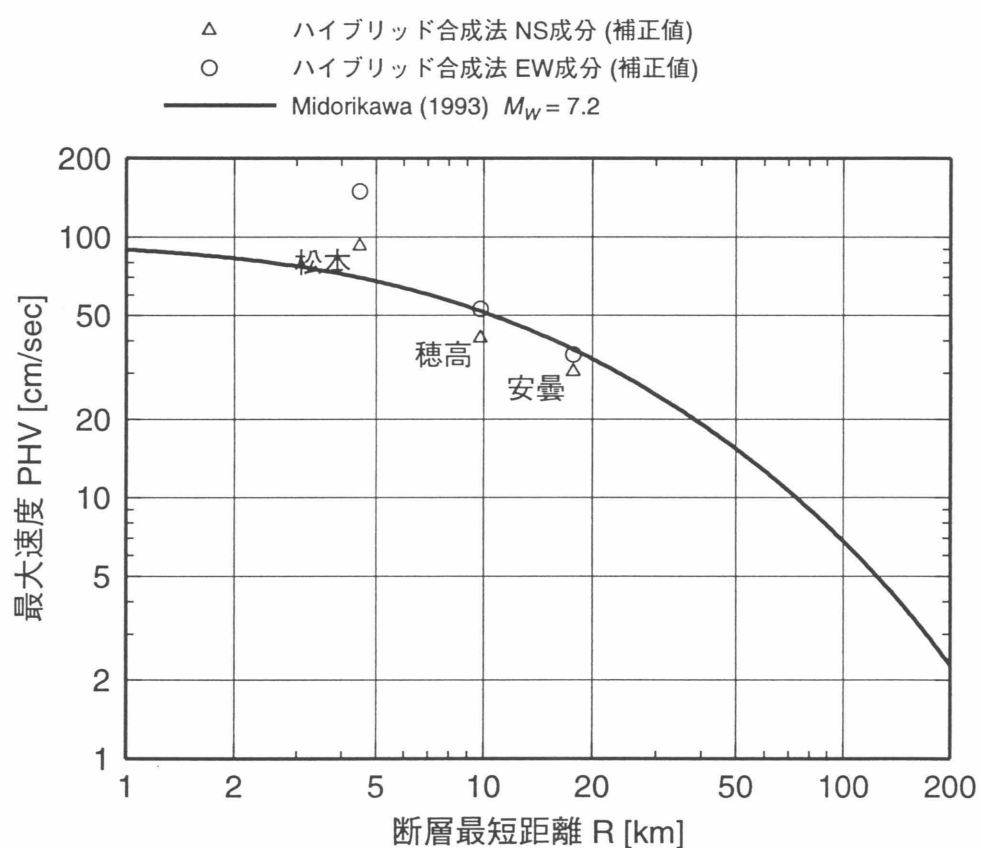


図 1 6 最大加速度の経験的距離減衰式による減衰曲線〔福島・田中 (1992)〕と試算結果の最大加速度との比較（観測点における表層地盤の増幅による違いを補正）

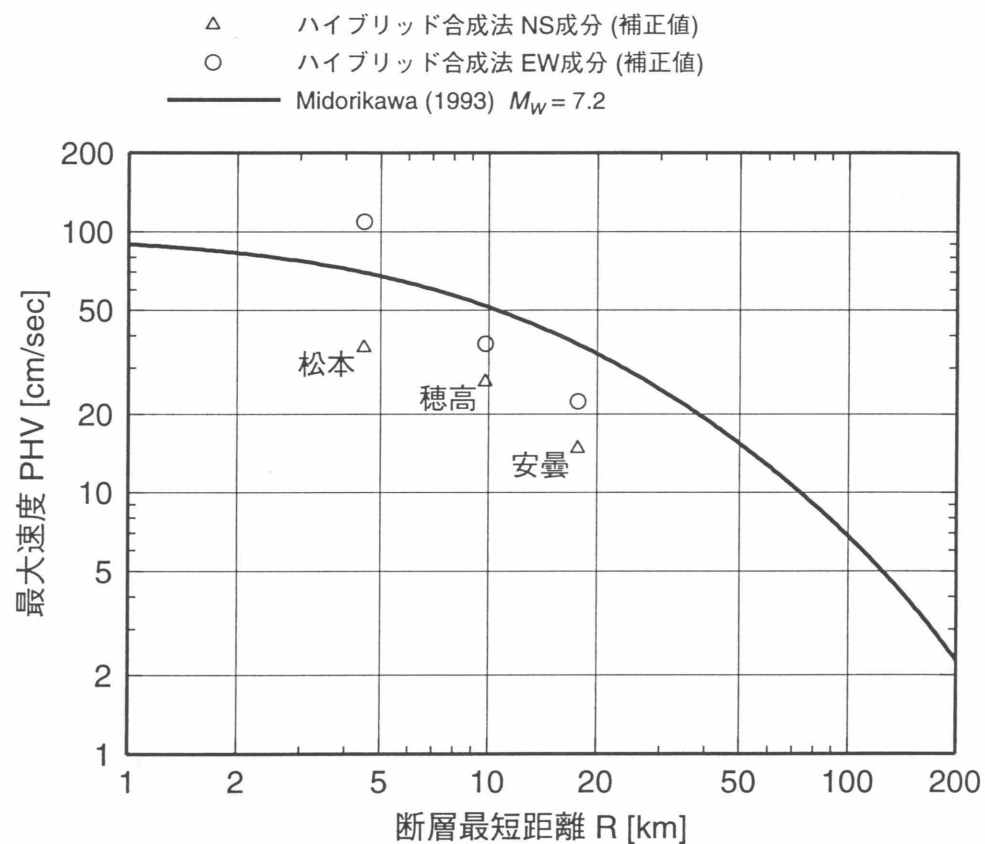
### ケース 1



### ケース 2



### ケース 3



### ケース 4

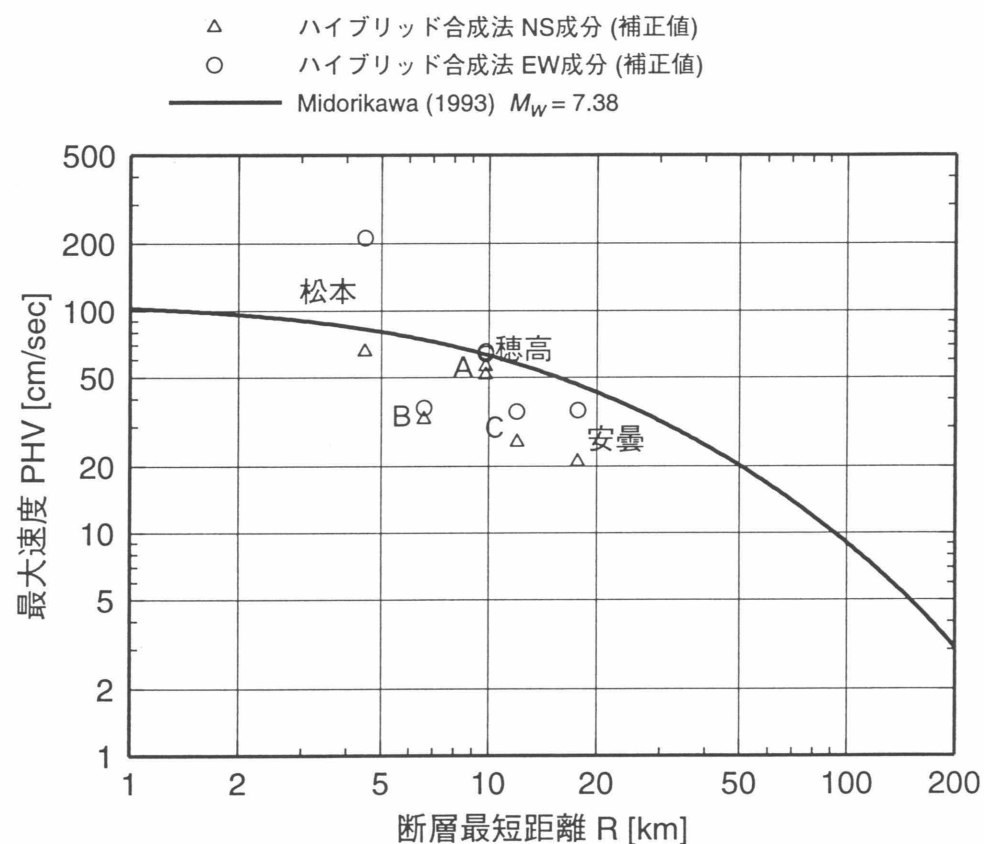


図 1 7 最大速度の経験的距離減衰式による減衰曲線 [翠川 (1993)] と試算結果の最大速度との比較 (観測点における表層地盤の増幅による違いを補正)